

<別紙> 情報提供様式

事例名	
学校経営骨太モデル事業を活用した業務改善の取組 ～とにかくやってみる、やめてみる、変えてみる～	
学校名	
湖南省立岩根小学校	連絡先 0748-72-1500
取組分野(複数選択可)	
<input checked="" type="checkbox"/> 勤務時間の意識づけに関する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程等(授業時数の点検、日課表の見直し、カリキュラム、教科担任制、行事の精選等)に関する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 校務分掌(業務の平準化、業務削減等)に関する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 環境整備(民間施設の活用、職員室のレイアウト変更、留守番電話、備品管理等)に関する取組 <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用(自動採点、成績処理、Webによるアンケート、ファイルサーバの共有、連絡ツール等)に関する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 外部人材の活用(スクールロイヤー・民間人材の活用等、コミュニティ・スクール、地域学校協働本部、地域ボランティア等含む)に関する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 副校長・教頭の負担軽減に関する取組(学校経営骨太モデル事業、副校長・教頭マネジメント支援員の活用等) <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員の活用に関する取組	
直面していた課題(取組前の様子)	
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭環境の厳しさを抱える児童の割合がたいへん高く、問題行動が多発する状況であった。 ・課題の山積により教員の疲労感が積み重なっていた。 ・業務改善についての到達点が教員それぞれに異なるため、達成感が得られにくかった。 ・業務軽減のみが改善であるとの考え方があった。 	
在校等時間の縮減に向けた具体的取組内容	参考となる写真や資料を添付
業務改善推進委員会がチームで働き方改革を推進 コミュニティ・スクールの活性化 行事を地域とともに創ることで、さらに地域力アップ 外部のアドバイザーの活用 ベネッセ 庄子寛之さん「残業ゼロの仕事のルール」 教職員の意識の変化 「子どもに任せる」授業づくり学校づくり コクヨ 文科省学校業務改善アドバイザー 齋藤敦子さん 「環境デザインから始める働き方改革」 効率的に仕事ができる職場環境・ゆとりある空間へ ICT活用 ○チーム担任制に向けて教科担任制試行 ○業務改善における小中連携の取組	 <p>【業務改善推進委員会】 毎週水曜日2校時に開催 児童支援の検討も行い、チームで早期対応 行事等の事前検討で会議の時間短縮も</p>
取組のポイント ・特活と生徒指導の連携・子どもの自己決定を大事にした取組により生徒指導案件が減少したことが大きい	 <p>【職員室大改造計画】 給湯室の奥を整理整頓・断捨離してお菓子部屋を創造 ホワイトボードの書き込みで教職員のコミュニケーションのきっかけづくりも</p>
取組の成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・1カ月の超過勤務時間 平均14時間の削減(4 - 6月) ・教職員の高い満足度 担任の余裕 自己研鑽や子どもとの時間の充実 ・教頭業務の分担 教頭の業務軽減+人材育成 	
成果のポイント ・推進委員が主体的に動き、職員に発信することが鍵！ ・100の仮説を立て、まずやってみる！の空気感の醸成 ・やりがいと向上心のUPが重要	